

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-27	高等学校	商業	管理会計	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
230 ネット	商業 747	新 楽しい管理会計		

1. 編修の基本方針

幅広い知識と教養の一環として管理会計を学習するにあたり、平易な文章表現と多くの例により、学習者がより具体的にイメージができるように工夫した。また、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという教育の目標に資することを念頭に、管理会計の意義と内容を説明するように努めた。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Chapter 1 管理会計の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・「管理会計」で学ぶ内容や経営管理の目的が将来のビジネスシーンにおいてどのような関連があるのかを、具体例を交えつつ解説した。(第2号) ・法規に沿った会計処理を学ぶ財務会計の分野とは異なり、経営者になったつもりで、その状況に合わせ自主的に考えることが重要であることを示した。(第1号、第2号) 	P. 2～9 P. 10
Chapter 2 短期利益計画	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標に向け、「原価計算」の学習範囲である直接原価計算の基礎的な内容を適切に復習できるよう掲載した。(第1号) ・自主及び自律の精神や勤労を重んずる態度を養う目標に向け、短期利益計画の理解に役立つよう、多くのグラフや図解を用いて説明するように意識した。(第2号) 	P. 16～23 P. 31 P. 38～39 など
Chapter 3 経営意思決定 1	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標に向け、経営意思決定における特殊な原価概念や業務的意思決定について、平易な例からより実践的な例までを扱った。(第1号) ・創造性を培い、自主及び自律の精神を養う目標に向け、適宜、複数の考え方を示して、どの考え方であっても経営意思決定の原理を理解していれば、正しい意思決定が導けることを示した。(第2号) 	P. 65 P. 66～67 P. 68～75 など P. 65～66 P. 70 など
Chapter 4 経営意思決定 2	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標に向け、構造的な意思決定について、その評価方法に関する学習項目の順序を段階的な理解を促すように工夫した。(第1号) 	P. 77～109
Chapter 5 予算編成	<ul style="list-style-type: none"> ・自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う目標に向け、会計情報を元に企業の目標及び行動指針を示す予算編成のプロセスを、細かな段階に分けて実践しやすいよう工夫した。(第2号) 	P. 115～128
Chapter 6 予算統制	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な社会形成への参画や社会の発展に寄与する態度を養う目標に向け、社会の一構成要素である企業における一期間の活動状況を数的に分析し、原因を探る予算統制について、具体的な数値をもって、わかりやすく説明した。(第3号) 	P. 134～146
Chapter 7 事業部の業績測定	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標に向け、企業の組織構造に関して「ビジネス基礎」での学習と関連付けられるようにした。(第1号) ・主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う目標に向け、適切な業績測定に必要な原価の分類、利益の計算、業績測定指標の活用方法を、具体的な数値例を用いながら解説した。(第3号) 	P. 156～157 P. 158～164
Chapter 8 コストマネジメント 1	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標に向 	P. 168～172

	<p>け、「原価計算」の学習範囲である標準原価計算の基礎的な内容を適切に復習できるよう掲載した。(第1号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主及び自律の精神や勤労を重んずる態度を養う目標に向け、標準原価計算の具体的な計算方法や計算結果の活用に関する理解を促せるよう、多くのグラフや図解を用いて説明するように意識した。(第2号) 	<p>P. 180～184 P. 203～204 など</p>
Chapter 9 コストマネジメント2	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統と文化を尊重しながら国際社会の発展に寄与する態度を養う目標に向け、時代に伴い変化してきた管理会計の考え方や手法に関して、我が国をはじめとした製造業の環境の変遷と関連付けて理解を促すよう工夫した (第5号) 	<p>P. 212～214</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

会計情報に基づき経営管理を行うことは企業の発展に不可欠であることから、高校生にもイメージしやすい事例を用いながら、企業の発展に合わせて必要となる管理会計の手法を順序よく学べるよう工夫した。

具体的には、極めて小規模な事業でも必要不可欠な損益分岐分析からはじめ、影響の及ぶ期間が短く規模の小さい業務的意思決定、影響の及ぶ期間が長く規模の大きい構造的意思決定を学び、その後、企業内で多くの部署・部門を抱えていることを前提とする予算編成・予算統制や事業部の業績測定という順で、少しずつ大きな事業・企業に関連の深い内容へと学び進められるようにした。

また、単なる受け身の学習とせず、身の回りの商品やサービスで触れている身近な企業のことにも想像しながら学習内容を活用できるよう、適宜、考察や討論のテーマとなるような「Let's think」及び「Let's have a discussion」を掲載した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-27	高等学校	商業	管理会計	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
230 ネット	商業 747	新 楽しい管理会計		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ① 平易な文章表現
「ですます調」をはじめ、できるだけ平易な文章表現を用いることにより、各学習内容に取り組む際の最初のハードルが低くなるようにした。
- ② 計算例の充実
基本的な計算例のみならず、固定費調整、意思決定など、必要な基礎資料のもとに、ある程度複雑な計算に触れることがより早い内容理解につながる事項についての計算例を充実した。
- ③ 計算過程の明示
具体的な計算を要する内容については、その計算過程をできるだけ明示することにより、理解を助けとなるようにした。
- ④ 用語集の収載
各章 (Chapter) の扉に、主たる用語と簡潔な説明を列挙し、各章の学習の前におおまかなイメージをつかみ、また、各章の学習の後に内容の整理を行うことに役立つようにした。
- ⑤ 確認問題の収載
本文の計算例に加え、適宜、例題 (Try it) を設け、内容の理解度を問題で確認できるようにした。
- ⑥ 考察や討論のテーマの掲載
本書で学ぶ管理会計の技術や手法を通じて、会計情報の活用方法を考察または討論するためのテーマとして、「Let's think」及び「Let's have a discussion」という項目を掲載した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数	
Chapter 1 管理会計の基礎 1 経営管理と管理会計 1 管理会計の意義と目的 2 管理会計と原価計算	(1) 管理会計と経営管理 ア 管理会計の目的 ア 管理会計の目的 イ 管理会計と原価計算との関係	2～4 ページ 5～10 ページ 11～13 ページ	} 2	
Chapter 2 短期利益計画 0 直接原価計算 (原価計算の復習) 1 原価予測と原価の固定分解 2 CVP 分析 (損益分岐点分析) 3 感度分析 4 利益の最大化 (最適セールス・ミックス)	(2) 短期利益計画 ア 原価予測の方法 イ 損益分岐分析と感度分析 イ 損益分岐分析と感度分析 ウ 利益の最大化	16～23 ページ 24～29 ページ 30～42 ページ 43～48 ページ 49～59 ページ		1 2 4 1 3
Chapter 3 経営意思決定 1 1 経営意思決定 2 経営意思決定のための特殊な原価 3 業務的意思決定	(6) 経営意思決定 ア 経営意思決定の概要 ア 経営意思決定の概要 イ 業務的意思決定	62～63 ページ 64～67 ページ 68～76 ページ		1 2 3
Chapter 4 経営意思決定 2 1 構造的意思想定 2 キャッシュ・フロー見積りとタックスシールド 3 設備投資案の評価方法 4 貨幣の時間価値 5 資本コスト 6 正味現在価値と内部利益率法	(6) 経営意思決定 ウ 構造的意思想定 ウ 構造的意思想定 ウ 構造的意思想定 ウ 構造的意思想定 ウ 構造的意思想定 ウ 構造的意思想定	78～80 ページ 81～86 ページ 87～90 ページ 91～95 ページ 96～97 ページ 98～110 ページ	1 2 2 1 1 5	
Chapter 5 予算編成 1 企業予算の基礎知識 2 予算編成 1 損益予算	(4) 予算編成と予算統制 ア 企業予算の編成 ア 企業予算の編成	112～114 ページ 115～121 ページ	1 3	

3 予算編成 2 財務予算	ア 企業予算の編成	122～130 ページ	3
Chapter 6 予算統制	(4) 予算編成と予算統制		
1 予算統制	イ 予算統制の方法	132～133 ページ	1
2 予算実績差異分析 1 全部原価計算	イ 予算統制の方法	134～148 ページ	5
3 予算実績差異分析 2 直接原価計算	イ 予算統制の方法	149～153 ページ	2
Chapter 7 事業部の業績測定	(3) 業績測定		
1 職能別組織と事業部制組織	ア 企業の組織構造	156～157 ページ	1
2 事業部別損益計算	イ 業績測定の方法	158～161 ページ	2
3 業績測定の尺度	イ 業績測定の方法	162～166 ページ	2
Chapter 8 コストマネジメント 1	(5) コストマネジメント		
0 標準原価計算 (原価計算の復習)	ア 標準原価計算	168～172 ページ	2
1 仕損・減損の処理	ア 標準原価計算	173～179 ページ	3
2 歩留差異・配合差異の分析	ア 標準原価計算	180～185 ページ	3
3 労働歩留差異・労働ミックス差異の分析	ア 標準原価計算	186～191 ページ	2
4 直接標準原価計算	イ 直接標準原価計算	192～201 ページ	2
5 活動基準原価計算	エ 活動基準原価計算	202～210 ページ	2
Chapter 9 コストマネジメント 2	(5) コストマネジメント		
1 新しいコストマネジメント	ウ 目標原価計算	212～214 ページ	1
2 原価企画・原価維持・原価改善	ウ 目標原価計算	215～219 ページ	2
3 品質原価計算	オ 品質原価計算	220～226 ページ	2
	計		70